

「令和 7 (2025) 年度とちぎっ子学習状況調査」結果速報

令和 7 年 7 月
下野市教育委員会

調査について

1 調査の概要（「とちぎっ子学習状況調査」実施要項より一部抜粋）

（1）調査の目的

本調査の実施により本県児童生徒の学力や学習の状況等を把握・分析し、児童生徒一人一人の課題を明確にするとともに、各学校が組織的に学習指導における検証改善サイクルの構築・運用に取り組むことにより、本県児童生徒の学力向上に資する。

（2）調査実施日

令和 7 (2025) 年 4 月 1 7 日（木）

（3）調査対象

小学校調査：小・義務教育学校第 4・5 学年

中学校調査：中学校第 2 学年、義務教育学校第 8 学年

（4）調査事項及び手法

① 教科に関する調査

- ・小学校調査：国語、算数、理科
- ・中学校調査：国語、社会、数学、理科、英語

② 児童生徒質問調査

- ・内 容：学習意欲、学習方法、学習環境、家庭学習等
- ・方 法：ICT 端末を用いたオンライン方式
- ・質問数：小学校 9 4 問、中学校 1 1 3 問

③ 学校に対する調査

学校における指導に関する取組や学習環境等

（5）その他

本調査の結果は、学力の特定の一部であること、学校における活動の一側面であることに留意し、児童生徒の全般的な学習状況への指導・改善等につなげるよう留意する。

2 本市の参加状況 ※参加人数は最も多かった教科のもの

調 査 対 象 内 訳	参加校数	参加人数
小 ・ 義 務 教 育 学 校 第 4 学 年	9 校	4 3 2 人
小 ・ 義 務 教 育 学 校 第 5 学 年	9 校	4 9 6 人
中学校第 2 学年・義務教育学校第 8 学年	4 校	4 3 7 人

本市の結果について

※小学校には義務教育学校前期過程、中学校には義務教育学校後期課程を含みます

【教科に関する調査の結果】※下野市と栃木県の平均正答率の比較

◎ 大きく上回っている（5ポイント以上） ○ 上回っている（1ポイント以上 5ポイント未満）
 — 同程度（±1ポイント未満）
 ▽ 下回っている（1ポイント以上 5ポイント未満） ▼ 大きく下回っている（5ポイント以上）

《小学校》

第 4 学 年			第 5 学 年		
内 容		県との比較	内 容		県との比較
国 語	全 体	○	国 語	全 体	○
算 数	全 体	◎	算 数	全 体	○
理 科	全 体	○	理 科	全 体	○

《中学校》

第 2 学 年					
内 容		県との比較	内 容		県との比較
国 語	全 体	○	社 会	全 体	○
数 学	全 体	○	理 科	全 体	○
英 語	全 体	○			

【児童生徒質問調査の結果】

質問別肯定率が算出できる項目における回答率の県平均との比較を行った（小学校調査 85 項目、中学校調査 104 項目）。

小学校第4学年では51 項目、第5学年では42 項目が同程度または上回る結果となった。中学校第2学年においては、53 項目が同程度または上回る結果となった。